

## 1 この科目の構成について

教 科	英語	科 目	コミュニケーション英語Ⅱ	単 位	3単位
対象コース	情報ビジネスコース	対象クラス	3年7組		
使用教科書	Big Dipper English CommunicationⅡ				
使用副教材	Big Dipper English CommunicationⅡ Workbook, キクタン Entry				

## 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	コミュニケーション英語Ⅰでは4技能を統合的に伸ばすために、受身で情報を得るだけでなく、発話やライティングを通して発信することを求めてきた。またⅡでは昨年度に引き続き、目的に応じて読み方を変えたり、その読んだ内容を自分の言葉で表現したり、他者が話す内容を理解したりできるようになることが目標である。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	1 逐語にこだわらず、概要を捕らえ、それを自分の言葉でまとめたり、他者が話す内容を聞き取り、理解する。 2 日常生活で使える表現や語彙の習熟を図る。
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校	語彙はコミュニケーションにとって大切なツールであるから、今年はフレーズの中で表現できるようにする。また昨年までと同様に多くの場面で、さまざまな形で音読や暗唱を行う。適切な声量できちんと活動できるようにする。
(2) 家庭	英語の学習において大切なのは反復である。学習した内容をそのままにすれば、記憶の奥底に閉じ込められてしまうのは当然である。日々教科書を音読10分間継続を推奨する。授業で確認したフレーズごとに意味を考えながら読むことによって、そこにある有益な語句が自分のものとなる。宿題は予習復習であるから授業前に済ませてあるのは言うまでもない。

## 3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	評価の観点「定期考査」「課題提出状況」「授業への参加」「小テストの成績」の4つの合算で評価する。定期考査は期間内の学習内容についての理解度を見る(6割)。課題提出状況では日々の課題への取り組みの内容を見る(2割)。小テストは週1回のキクタンテストの平均点が反映される(1割)。また授業への参加は出席率はもちろん、授業に取り組む姿勢、情報を理解し、英語で伝える姿勢を評価する(1割)。
評価における定期考査の割合	
60%	

## 4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) 関心・意欲・態度	英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ること(授業への参加として評価)
(2) 思考・判断	自分の知識や意見を簡単な英語で伝えることができること、また他の学習者のものも理解することができること(授業への参加として評価)
(3) 技能・表現	平易な英語を使って、積極的に表現し、またその技能を洗練させるための努力を継続的にしていること(課題提出、授業への参加として評価)
(4) 知識・理解	一定期間に学習した内容をきちんと理解し、有形無形の手段で表現できること(定期考査、小テストの成績として評価)

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点				
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知	
1	4	Lesson 1 Sakura 実践英会話① [Active Learning を実践します]	【コミュニケーション】桜にまつわる意外な事実について、知っていることを発言しようとする 【表現】 SVC(C=現在分詞・過去分詞), 5 文型, 現在完了・過去完了を用いて, 正しい文を書く 【理解】日本の桜の多くがソメイヨシノであること他を理解する 【知識・理解】① SVC(C=現在分詞・過去分詞), 5 文型, 現在完了・過去完了の用法を理解する②桜や花見を通してわかる日本人の国民性について理解する③桜を通しての国際交流について理解する	●		●	●	
		Lesson 2 How Good is Your Memory? 実践英会話② [Active Learning を実践します]	【コミュニケーション】暗記法について, またその効果について, 知っていることを発言しようとする 【表現】受動態, 関係代名詞, 関係副詞を用いて, 正しい文を書く 【理解】日本と同様, 海外にも暗記法が存在すること他を理解する 【知識・理解】①受動態, 関係代名詞, 関係副詞の用法を理解する②日本と世界の暗記法について理解する③さまざまな分野で脳のメカニズムの研究が進んでいることを理解する		●	●	●	
	5	【第1回考査】						
		Lesson 3 When East Met West in the Kitchen 実践英会話③ [Active Learning を実践します]	【コミュニケーション】海外から導入され, 日本の食卓に定着した料理について, 知っていることを発言しようとする 【表現】関係代名詞の継続用法, SVO1O2(that-節), SVO(wh-節)を用いて, 正しい文を書く 【理解】日本が開国により, 外国文化を受け入れ始めた時期の社会のようすなどを理解する 【知識・理解】①関係代名詞の継続用法, SVO1O2(that-節), SVO(wh-節)の用法を理解する②時間的順序を表す語句に注目しながら読む方法を知る③日本における洋食の歴史について理解する④日本食が世界中に広がっていることを理解する	●		●	●	
	6	【第2回考査】						
		Lesson4 Space Elevator (Gr)関係代名詞、文型 (St)時間的な配列 実践英会話④ [Active Learning を実践します]	【コミュニケーション】宇宙エレベーターについて, また宇宙開発全般について, 知っていることを発言しようとする 【表現】関係副詞whereの継続用法, 未来進行形, 仮定法過去を用いて, 正しい文を書く 【理解】宇宙エレベーターの原理等を理解する 【知識・理解】①関係副詞 where の継続用法, 未来進行形, 仮定法過去の用法を理解する②宇宙開発の歴史を理解する③宇宙開発の問題点を理解する		●	●	●	
	7	Lesson5 Ueno Takahiro: The Dancer in Me (Gr)文型、仮定法、分詞構文 [道徳教育を行います] 実践英会話⑤ [Active Learning を実践します]	【コミュニケーション】世界の舞台上で活躍する日本人について, 知っていることを発言しようとする 【表現】SVOC(C=過去分詞), 仮定法過去完了, 分詞構文(現在分詞, 過去分詞)を用いて, 正しい文を書く 【理解】①筆者が打ち立てたアポロシアターでの偉業とその経緯他を理解する 【知識・理解】①SVOC(C=過去分詞), 仮定法過去完了, 分詞構文(現在分詞, 過去分詞)の用法を理解する②多くの日本人が世界の舞台上で活躍している事実を理解する	●		●	●	
		8	Lesson6 Speaking of Fashion (Gr)意味上の主語、関係代名詞、完了不定詞、助動詞+完了形 実践英会話⑥ [Active Learning を実践します] 【第3回考査】	【コミュニケーション】ファッションに関するトリビアについて, 知っていることを発言しようとする 【表現】動名詞の意味上の主語, 関係代名詞の継続用法, 完了不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いて, 正しい文を書く 【理解】①女性のズボン着用が一般的になった経緯他を理解する 【知識・理解】動名詞の意味上の主語, 関係代名詞の継続用法, 完了不定詞, 助動詞+have+過去分詞の用法を知る	●		●	●
	9		Lesson7 The Whimsical Robot (Gr)仮定法 (St)文章の展開を予測して読む 実践英会話⑦ [Active Learning を実践します]	【コミュニケーション】星新一氏の作品について, 知っていることを発言しようとする 【表現】仮定法 as if, 仮定法 if S' were to ~ を用いて, 正しい文を書く 【理解】エヌ氏がロボットを購入した目的などを理解する 【知識・理解】①仮定法 as if, 仮定法 if S' were to ~ の用法を知る②ストーリー展開を予測して読む方法を知る		●	●	●
		10	【第4回考査】					
2	11							

	12	<p>Lesson8 The Psychology of Shopping          (Gr)受動態、形式目的語          (St)ディスコースマーカー</p> <p>実践英会話⑧          [Active Learning を実践します]</p>	<p><b>【コミュニケーション】</b> 販売員がよく使うセールスの手法について、知っていることを発言しようとする  <b>【表現】</b> 進行形の受動態、形式目的語(to-不定詞/that-節)、省略を用いて、正しい文を書く  <b>【理解】</b> 本文中で紹介される4つ手法がそれぞれどのようなものかを理解する  <b>【知識・理解】</b> ①進行形の受動態、形式目的語(to-不定詞/that-節)、省略の用法を知る②日常の出来事を科学的に分析する手法を知る</p>	●	●	●
3	1	<p>Lesson9 A Bridge to the Future of Orangutans          (Gr)助動詞、関係副詞          (St)同格</p> <p>実践英会話⑨          [Active Learning を実践します]          実践英会話⑩          [Active Learning を実践します]</p>	<p><b>【コミュニケーション】</b> 絶滅の危機に瀕した動物を保護する活動について、知っていることを発言しようとする  <b>【表現】</b> used to、関係副詞 when の継続用法、同格を表す of/that を用いて、正しい文を書く  <b>【理解】</b> 野生のオランウータンの生息数が近年、減少していることが理解する。また、その主な要因などを理解する  <b>【知識・理解】</b> ①used to、関係副詞 when の継続用法、同格を表す of/that の用法を知る②人間活動と自然破壊の関係について知る</p>	●	●	●